

# 農泊を通じた農業振興

～ポストコロナに向けた地域活性化～



令和5年5月

# 目次

1. 農泊への期待
2. 農協観光の取組
3. 最近の実践事例
4. まとめ



# 農協観光について①

農協観光は、地域のJAや農業者との繋がりが強い「JAグループの旅行会社」です。

## JAグループのネットワーク

農業の生産力を高める、農業所得を向上させる、地域の農業を発展させることを使命に、組合員のニーズに応じて農業生産に必要な肥料や農薬等の資材の共同購入・農畜産物の共同販売の他、信用事業や共済事業、高齢者福祉、健康管理、旅行など幅広く事業を展開しています。



## 株式会社農協観光

農業・農山漁村の関係人口を創出し、「地域農産物の消費拡大」を軸に、持続可能な地域・農業の実現をJAグループとともに目指します。

### ■企業理念

私たちは「あるがままの自然と人間とのふれあい」「豊かな伝統文化と歴史への回帰」「新しい技と知恵の発見」をコンセプトに地球にやさしく自然に一番近い総合余暇産業を目指し地域社会の発展に寄与します。

私たちはお客様一人ひとりにまごころでお応えし仲間をつくり知性を磨き活力あふれる企業文化を創造し会社を構成する全ての人々とともに幸福を追求します。

### ■5つの事業の柱

#### JA活動支援事業

JA組合員の拡大とアクティブメンバーシップの確立への貢献を目的に、JAの各部門と連携しその活動を支援します。

#### 地域共創事業

JA食農教育と連動した農業体験ツアーや教育旅行等を通じて、地域の「食」と「農」の魅力発信や、地方自治体や多様な企業体と連携して、地域の活性化に貢献します。

#### 国際交流事業

外国人旅行者を通じ、日本の農業の魅力・地域の魅力・食の魅力を世界へ発信し、外国人旅行者による農山漁村での消費拡大や越境EC等による新たな商流により、地域の活性化に貢献します。

#### リテール事業

Web販売システムの構築やSNSによる有益な情報発信により自社のブランド力を高め、新たな市場の個人需要を獲得します。

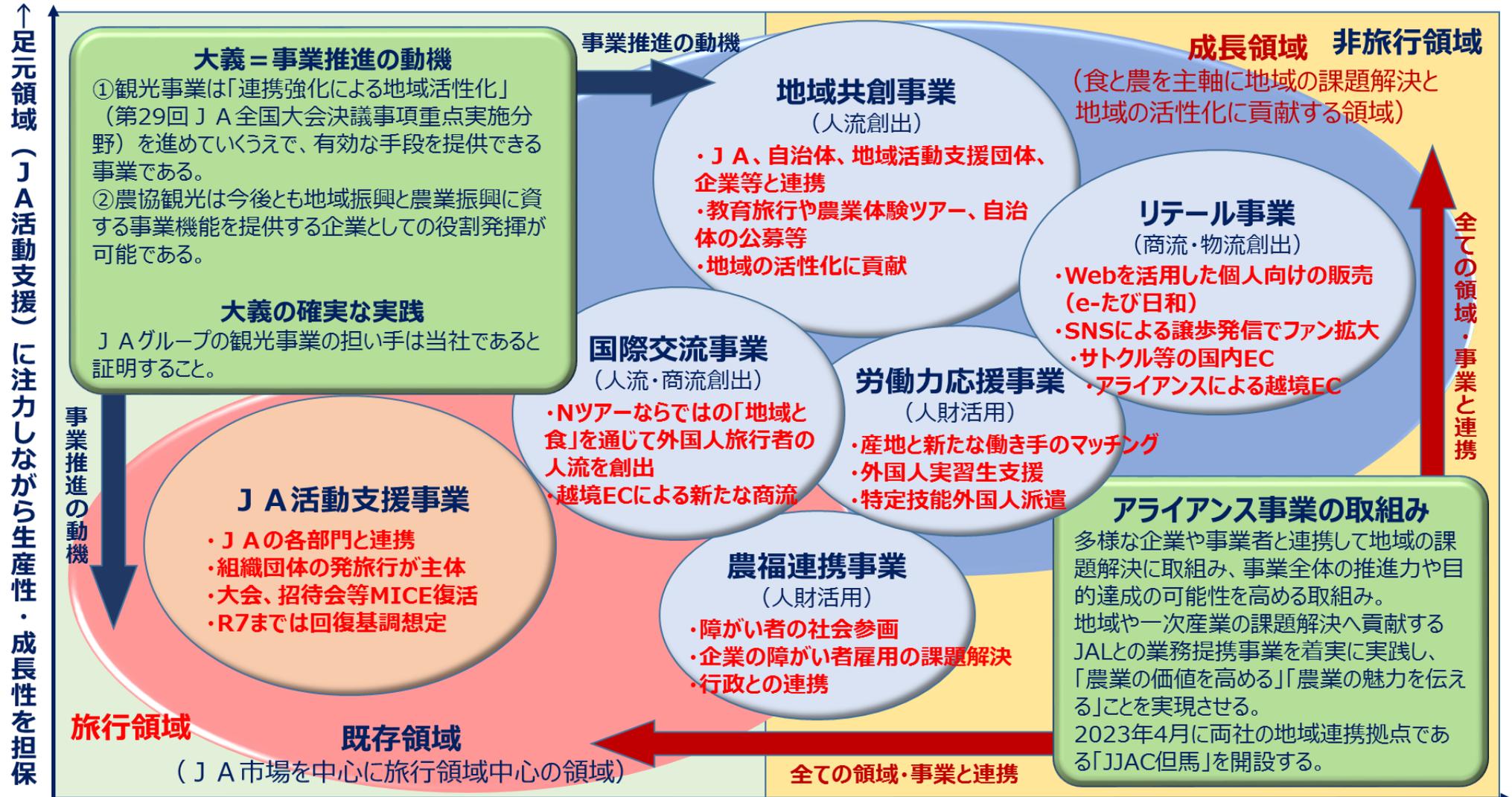
#### 労働力応援事業

人手不足の産地(JA・農家)と新たな働き手(主に法人需要)をつなぎ、農業振興に貢献します。

# 農協観光について②

【農協観光が取組む事業】

『JA観光事業を推進するとともに、地域の活性化と地域の課題解決に貢献する取組みを事業として確立します』



既存事業の回復の取組みと成長戦略の着実な実践により、事業全体の拡大へ →

# 1. 農泊への期待：農業・農村振興の面から

## 農山漁村滞在型旅行「農泊」の推進について

- 「農泊」とは、農山漁村地域に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」。
- 「農泊」の狙いは、宿泊・食事・体験など農山漁村ならではの地域資源を活用した様々な観光コンテンツを提供し、農山漁村への長時間の滞在と消費を促すことにより、地域が得られる利益を最大化し、農山漁村の活性化と所得向上を図るとともに、農山漁村への移住・定住も見据えた関係人口の創出の入り口とすること。



### 立ち寄るのみだと...

滞在時間：短 → 「通過型観光」



利益は限定・局所的

### 宿泊・体験コンテンツが充実すると...

滞在時間：長 → 「滞在型観光」



地域の利益の最大化

- ・農泊を支える体制を構築する中で **地域の雇用も**
- ・多様な交流はリピーターを生み **移住・定住のきっかけに**

# 1. 農泊への期待：観光振興の面から

## (参考)観光立国推進基本計画(第4次)概要 ~持続可能な形で観光立国の復活に向けて~

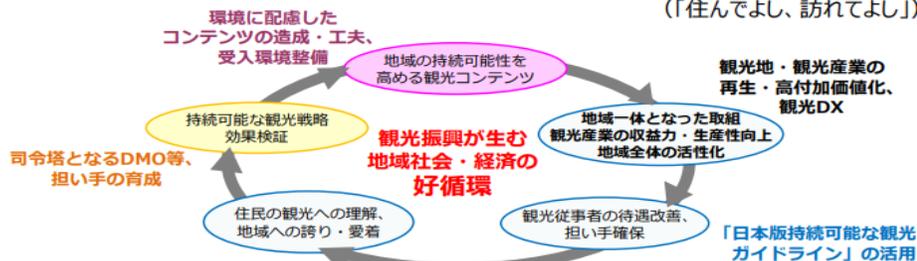
- 観光はコロナ禍を経ても**成長戦略の柱**、**地域活性化の切り札**。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を**持続可能な形で復活させる**。
- **大阪・関西万博も開催される2025年に向け**、「**持続可能な観光**」「**消費額拡大**」「**地方誘客促進**」をキーワードに、「**持続可能な観光地域づくり**」「**インバウンド回復**」「**国内交流拡大**」に戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる。

計画期間：  
令和5～7年度  
(2023～2025年度)

### 基本的な方針

#### 持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光振興が**地域社会・経済に好循環**を生む仕組みづくりを推進する
- 観光産業の**収益力・生産性を向上**させ、**従事者の待遇改善**にもつなげる  
(「稼げる産業・稼げる地域」)
- **地域住民の理解**も得ながら、**地域の自然、文化の保全と観光を両立**させる  
(「住んでよし、訪れてよし」)



#### インバウンド回復戦略

- 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を総動員する
- 消費額拡大・地方誘客促進を重視する
- アウトバウンド復活との相乗効果を目指す

#### 国内交流拡大戦略

- 国内旅行の実施率向上、滞在長期化を目指す
- 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる新たな交流需要の開拓を図る

### 目標

- 早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円
- 2025年目標（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定）

持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】	100地域
	インバウンド回復	② 訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人
③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】		2泊	
④ 訪日外国人旅行者数		2019年水準超え	
国内交流拡大	⑤ 日本人の海外旅行者数	2019年水準超え	
	⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上	
	⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊	
	⑧ 国内旅行消費額	22兆円	

### 主な施策

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 持続可能な観光地域づくりのための体制整備等
- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進
- 国内需要喚起
- ワークーション、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

### 目指す2025年の姿

- 活気に満ちた**地域社会**の実現に向け、**地域の社会・経済に好循環**を生む「**持続可能な観光地域づくり**」が全国各地で進められ、**観光の質の向上**、**観光産業の収益力・生産性の向上**、**交流人口・関係人口の拡大**がコロナ前より進んだ形で**観光が復活**している
- 万博の開催地である我が国が**世界的潮流を捉えた観光地**として脚光を浴び、「**持続可能な観光**」の**先進地**としても注目されている

# 1. 農泊への期待：農畜産物の消費拡大へ

## 訪日外国人旅行者の「食」への関心

- 2013年の「和食」のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、国内外で「和食」に対する関心が高まっている。
- 訪日外国人観光客は、**地方の郷土料理を食べることを楽しみにしている**とともに、**好きな外国料理でも「日本料理」が1位**に挙げられている。

### 日本食ブーム

- 訪日外国人観光客が「訪日前に期待していたこと」  
(全国籍・地域、複数回答)

**1位「日本食を食べること」(69.7%)**

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」2019年年次報告

- 外国人が好きな外国料理

**1位「日本料理」(66.3%)**

出典：日本貿易振興機構調査(2014年3月)  
※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合  
(自国の料理は選択肢から除外)

- 地方の多様な食への期待

訪日外国人が日本の地方旅行でしたいことは、  
**「温泉・自然観光地訪問」(57%)に次いで、**  
**「郷土料理を食べる」(54%)**

出典：株式会社日本政策投資銀行・公益財団法人日本交通公社  
アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査(平成27年度版)

### 好きな外国料理の1位は「日本料理」

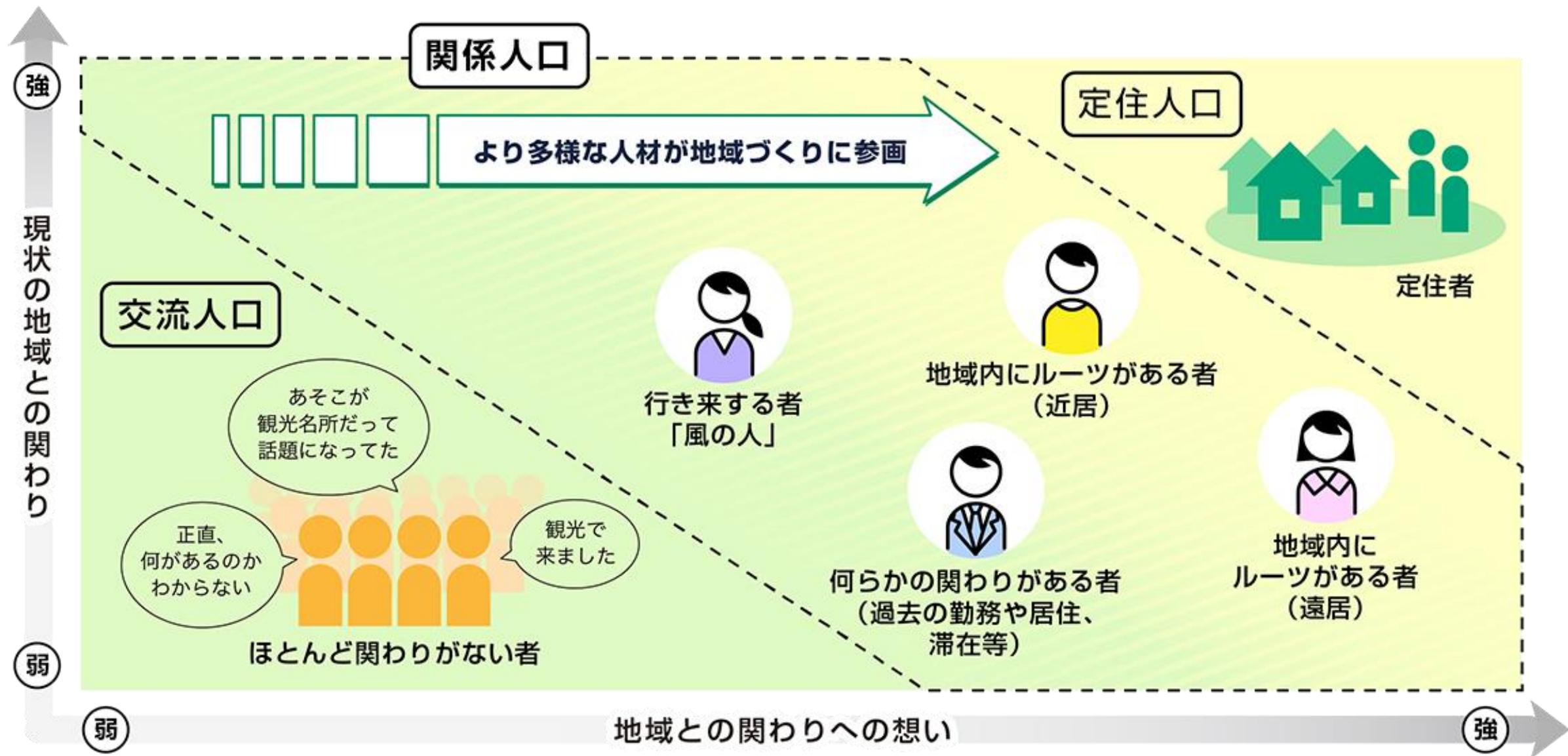
#### 好きな外国料理(6都市全体結果)



出典：ジェトロ「日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査」(2014年3月)を基に作成

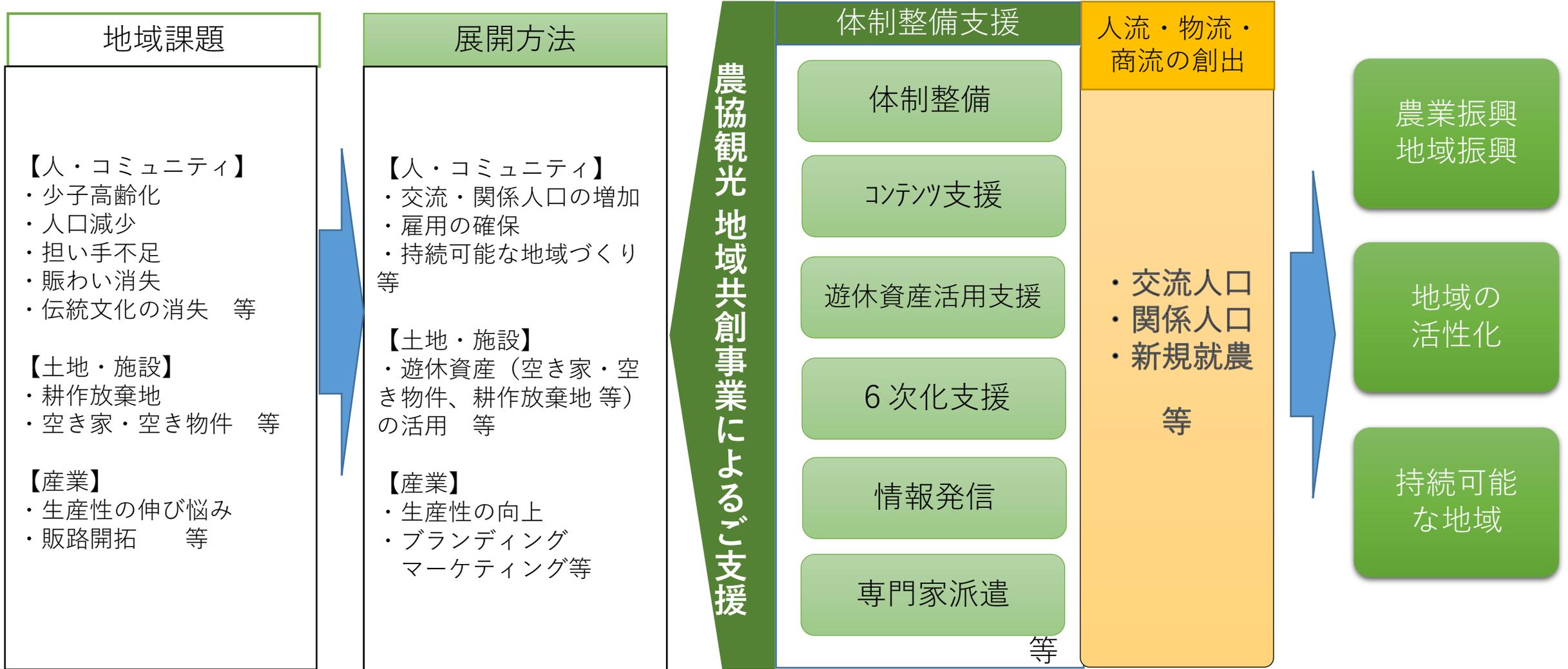
出典：日本貿易振興機構調査(2014年3月)※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合。(自国の料理は選択肢から除外)

# 1. 農泊への期待：関係人口創出の視点から



## 2. 農協観光の取組：地域共創事業① —全体概要—

地域共創事業では、農山漁村地域の課題やニーズに向き合い体制整備支援から人流創出まで一連の流れを大切にします。体制整備支援では、「地域の将来像」を共有したうえで、農泊等の手法を通じてご支援させていただきます。人流創出では“交流人口”や“関係人口”を創出することで、農業振興・地域振興に貢献します。



## 2. 農協観光の取組：地域共創事業② 一体制整備のご支援イメージ

農山漁村地域における現状と課題を丁寧に聞き取り、「地域の将来像」を共有したうえで、ご支援を進めます。個々のご支援から総合的なご支援まで、ご要望やご条件に応じて、地域活性化に向けた最適なお提案をさせていただきます。

- 地域の将来像実現
- 地域の活性化
- 農業者所得の増大
- 農業生産の拡大 等

### 分析と対策 Check&Action

#### 課題・成果の分析と対策

体制整備からコンテンツ開発、情報配信までの一連のプロセスを経た上で、課題・成果を分析し、次のステップに向けた対策をご提示します。

### 体制整備

#### Plan

#### 体制整備 活動計画の策定



地域の現状と課題、将来像を踏まえて、体制整備を図りながら、総合的な活動計画を策定します。

地域の皆さまと弊社による実践

国・自治体の支援策等の活用

### コンテンツ開発

#### Do.1

#### 各種リサーチ調査 コンテンツの確立



各種リサーチ調査により現状やニーズを把握し、地域資源に合ったターゲットの設定とコンテンツの確立を目指します。

### 情報配信・販売

#### Do.2

#### マニュアル・サイト・ 動画・紙媒体等制作



ターゲットのニーズに合わせたツールを制作しプロモーションを始動させます。

#### モニターツアー・ファム トリップ等による実証



プロモーションやステップアップの場として訪問者を呼び込み実証します。

## 2. 農協観光の取組：地域共創事業③ 一体体制整備のご支援プログラム一例

交流人口や関係人口等を受け入れるには、地域の体制について様々な準備が必要です。弊社は多くの地域で交流を通じた地域振興・農業人口に関する支援を行ってきました。そのノウハウを活かし地域商品の開発や人材育成等、訪問者を受け入れる体制づくりをサポートします。

### 体制整備

地域の現状把握に基づいた事業計画策定や安全管理対策、インストラクター研修など、訪問者受け入れに向けた基本的なサポートを行います。

#### 主な支援メニュー

- ヒアリング調査
- 地域資源調査
- 農泊セミナーの開催
- 事業計画策定
- 安全管理研修
- 安全管理マニュアル作成
- 農業体験ガイド（インストラクター）研修 等

### コンテンツ支援

呼び込みたい訪問者（教育旅行、法人企業、BtoC、関係人口等）に合わせたプログラムづくりやマッチングをサポートします。

#### 主な支援メニュー

- コンテンツ開発研修(地域資源発掘/モニターツアー等)
- プログラム開発研修(教育旅行向け/法人旅行向け)
- 関係人口づくりのための婚活プログラム研修
- サイクルツーリズム研修（コース設計/活用）等

### インバウンド支援

再開に向けて、大きな需要が期待される訪日外国人市場。農山漁村地域におけるプログラムづくりや、ホスピタリティの手法をサポートします。

#### 主な支援メニュー

- 訪日外国人向けプログラム開発研修
- 訪日外国人へのホスピタリティサービス
- 外国人旅行者おもてなし研修・接客ロールプレイング 等

### 宿泊施設開業支援

農家民宿・民泊等を中心に、農山漁村地域における宿泊施設開業に至るまでの一連のプロセスをサポートします。

#### 主な支援メニュー

- 農家民宿・民泊新規開業者向け研修
- 農家民宿・民泊実践者向け研修 等

### 6次化支援

第1次産業だけでなく第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

#### 主な支援メニュー

- 6次化商品の開発・マーケティング・プロモーション
- フードダイバーシティ研修・メニュー開発 等

### 情報発信

訪問者と地域に合わせた、有効な情報発信やマッチング方法をご支援します。

#### 主な支援メニュー

- ファムトリップ実施
- ICT/SNS活用研修
- 情報発信ツール作成 等

### 業務委託・専門家派遣

短期から長期まで業務委託や専門家派遣を通じた地域活性化のための総合支援を行います。

#### 主な支援メニュー

- スタッフ・専門家による業務委託支援
- スタッフ・専門家の派遣による支援 等

## 2. 農協観光の取組：ご支援エリア実績

農泊や共生対流等を通じて弊社が体制整備段階から支援した地域

(一社) 全国農協観光協会との連携事業を含む。団体名の下のテキストは主な支援内容

獲得した主な表彰ならびに優良事例紹介等 (一部)

H30 日本農業遺産

### 奥出雲町農泊推進協議会

神話・たたら製鉄をテーマにした農泊コンテンツの開発、農泊施設拡大の支援

### 浜田市ツーリズム協議会

農泊協議会立ち上げ・体制整備の支援、地域資源を活用した農泊コンテンツの開発

H29 ディスカバー農山漁村の宝

### 世羅高原6次産業推進協議会

農家民宿を拠点にした6次化支援

### ⑧九州・沖縄

R1農水省：多様な取組事例

### (一社) 隠れ里ひとくまツーリズム

農家民宿を拠点に命の食事をテーマにした農泊コンテンツの開発、法人化に向けた体制整備

### 熊本県上益城郡山都町

道の駅のオープンに合わせた地域内コンテンツの開発と商品化

### 田上町農・泊連携推進協議会

湯田上温泉と道の駅を拠点にした農泊コンテンツの開発

H30都市農村交流優良事例表彰

### J A はくい

自然農法をテーマにした農泊コンテンツの開発

### ⑥近畿

H28 ディスカバー農山漁村の宝

H30 SAVOR JAPAN

### J A 紀の里

直売所を拠点にフルーツをテーマにした農泊コンテンツの開発

### ⑦中国・四国

R1 日本遺産

R1 SAVOR JAPAN

### (一社) 麒麟のまち観光局

地域連携DMOの立ち上げ支援、地域と連携した個人向け農泊コンテンツの開発

### 浜松三ヶ日農泊推進協議会

未利用農水産物を利活用した環境循環型をテーマにした農泊コンテンツの開発

### J A おおいがわ

J A 交流施設を拠点にお茶をテーマにした農泊コンテンツの開発

### かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会

調理専門学校と連携した食と観光事業の支援

R1 SAVOR JAPAN

### 南知多農泊推進協議会

海の農泊コンテンツ開発とSAVOR JAPAN取得支援

### ⑤北陸

### 魚沼ゆのたに農泊推進協議会

道の駅を拠点に郷土料理と雪をテーマにした農泊コンテンツの開発

### 上越地域農泊推進協議会

地域内の宿泊を拠点にした雪国ならではの農泊コンテンツの開発

### J A 佐野

観光いちご農園と連携した農泊コンテンツの開発

### かぬまいい旅推進協議会

ウェルネスや歴史をテーマにした農泊コンテンツの開発

### 蔵inガルテン川越G T 協議会

市の体験交流施設を拠点にした農泊コンテンツの開発

H30都市農村交流優良事例表彰

### J A 君津

体験農園の立ち上げと利活用、農泊コンテンツの開発

### 南足柄市農泊推進協議会

温泉施設と連携した農泊コンテンツの開発

### ④東海

R1 ディスカバー農山漁村の宝

### 函南町農泊推進協議会

酪農体験施設を拠点に酪農業テーマにした農泊コンテンツの開発

### 浜松・浜名湖観光地域づくり協議会

館山寺温泉を拠点に浜名湖をテーマにした農泊コンテンツの開発

### ①北海道

### (一社) 丘のまちびえい活性化協会

美瑛町観光協会と連携した農泊コンテンツの開発

### 十勝域内「農泊」観光連携協議会

農業団体と連携した農泊コンテンツの開発

### ②東北

R1農水省：多様な取組事例

### J A いわて花巻

花巻温泉と連携した体制整備

### J A あさひな

J A と連携した農泊コンテンツの開発

### 石川町農泊推進協議会

農泊コンテンツ調査とタリフ作成、プロモーションの支援

### ③関東

H27JA都市農村交流優良事例表彰

### J A 邑楽館林

J A と連携した食農コンテンツの開発

農林水産省優良事例紹介地域

### (一社) みなかみ町体験旅行

協議会の立ち上げ支援と教育旅行向けコンテンツの開発

## 2. 農協観光の取組：地域共創事業④ 一人流の創出（交流人口から関係人口へ）

農山漁村地域を訪れる“交流人口”や“関係人口”を創出し、地域活性化を図ることを目的に、地域の農畜産物を『知る、獲る、食べる、買う』等のコトを促進させるツアーやイベントの機会を創出します。

### 都市農村交流



収穫体験ドライブツアー



農家民宿でのふれあい



食の体験

### 教育旅行



産地での農業体験



食品リサイクルループ



被災地での災害学習

### 国際交流



農村文化体験



郷土料理づくり体験



国際商談会

### 労働力支援



援農ボランティア



就農ツアーでの農作業



就農相談会

## 2. 農協観光の取組：アライアンス事業 —JA・企業との連携—

### 「アライアンス事業」の推進

アライアンス事業は、多様な企業や事業者と連携して地域の課題解決に取組み、事業全体の推進力や目的達成の可能性を高める取組みです。

その取り組みの主体として、2022年7月に日本航空と業務提携契約を締結し、JALの世界的なブランド力とネットワーク、農協観光の地方での強みを活かし、一産業と地域の活性化に貢献することを目的に全国のJAグループと連携して農山漁村地域への多様な交流の機会を創出します。

#### ● J A Lとの戦略的アライアンスによるシナジー実現領域

両社の様々なネットワークとこれまでの経験・知見をアライアンスによりさらに高度化し、一次産業の活性化、地域活性化に貢献します。



【目的】  
人 flow・商流を創出し、  
一次産業と地域の活性化に貢献

人 flow の創出による一次産業・地域活性化  
～戦略的アライアンス～

シナジー効果 (農協観光)  
(令和6年度想定)  
取扱高144.7億円  
収入: 16.9億円

【リテール事業】  
純増額 76.9億円/8.0億円  
○農泊個人旅行 (国内・海外)  
○単品WEB・団体WEB  
○国内商流・ふるさと納税

【労働力応援事業】  
純増額: 7.7億円/0.9億円  
○援農ボランティア (法人・個人)  
○企業研修  
○アグリケーション  
○行政案件

#### \*\* J J エリアセンターの概要 \*\*

J J エリアセンターとは、農協観光とJALが共創し、地域で異なるニーズに対して柔軟にアセットを活用することで、全国の J A が抱えている①農家としての副収入増、②農家としての本業収入増、③人財不足といった課題解決に取り組み、地域から日常的に必要とされる存在を目指す地域連携拠点。

今後は、設置数を拡大し全国に展開する構想です。



#### ● 出口戦略となる共同の地域連携拠点「J J エリアセンター」

全国の J A との協業においては、両社共同の地域連携拠点「J J エリアセンター」を設置して事業を展開します。

その第 1 号となる「J J エリアセンター但馬」を、2023年4月1日、J A たじま本店の旅行センター (所在地: 兵庫県豊岡市) 内に設立しました。それに先立ち、J A たじま・日本航空・農協観光の 3 者において、それぞれが持つ物的・人的・知的資源を有効に活用し、但馬の地域資源を基盤とした活性化に関し相互に連携協力していくことを目的に、パートナーシップ協定を締結しました。

これにより、J A たじま管内 (3 市 2 町) の農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」(農泊) の推進や、地域産品を活用した6次産業化、越境 E C による販路拡大、人財マッチングによる労働力支援等の農業人財の育成・確保に関する取り組みを進めてまいります。



#### \*\* 連携協力の概要 \*\*

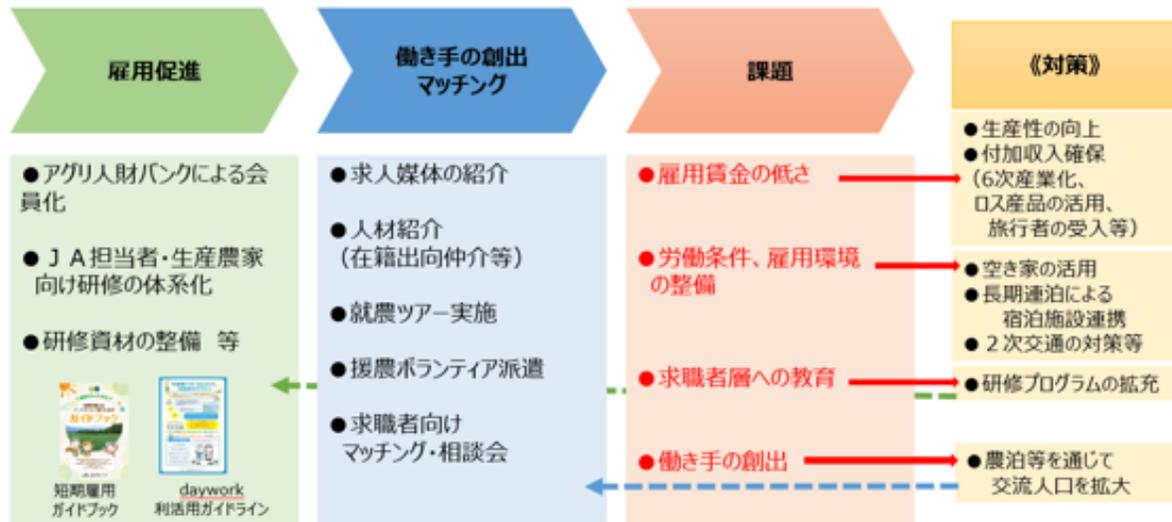
- ①農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験を楽しむ農山漁村滞在型旅行 (農泊) の推進や人流創出に資する取り組みに関する事項
- ②地域産品を活用した6次化、越境 EC による販路拡大など、商流・物流創出に資する取り組みに関する事項
- ③人財マッチングによる労働力支援など、農業人財の育成・確保に資する取り組みに関する事項

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kobe/20230315/2020021328.html>

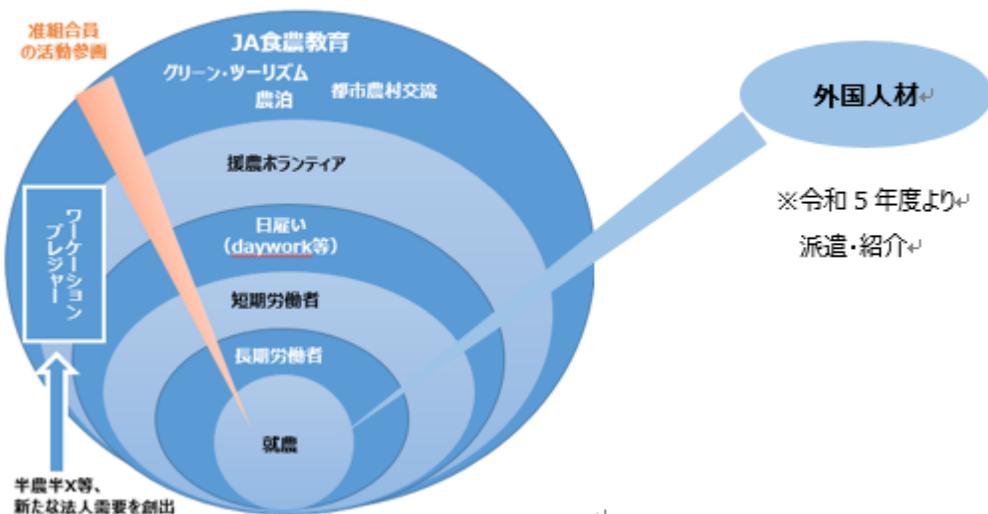
## 2. 農協観光の取組：労働力応援事業

### ■ 農協観光の労働力応援事業

生産農家の雇用促進から働き手の創出に繋がるよう、県域やJAの取り組みに対して以下のとおり支援を展開しています。



アグリ人材バンク会員拡大による「働いて応援」「作って応援」「食べて応援」による応援回づくり



### 1. 研修事業

JA全中と連携し、雇用者と求職者向けの研修パッケージを開発しました。4/21に全国のJA職員を対象とした研修会を皮切りに、今後は県単位やJA単位で実施して参ります。

### 2. 求人支援事業

- ①求人媒体紹介：現在2社との契約し、営業代行による手数料收受をする仕組みですが、契約する媒体を拡大し、産地の選択肢を増やします。
- ②出向仲介：三菱重工豪とJA愛知中央管内の法人農家で整備した出向仲介サービスの横展開を目指します。
- ③就農ツアー：交通費などの助成金を受けず継続して実施できるツアーの仕組みを確立し、産地間連携などを促進します（まずは近日中に、夏の北海道でのツアーを販売予定）
- ④援農ボランティア：全国連による取組が拡大（各連100名以上の見込み）JAグループからの紹介等も含め派遣元企業を発掘します。大学生は既存のネットワークに加え、新規情報発信先を開拓します。

### 3. 新たな取組

- ・特定技能実習生（外国人）を派遣する企業2社と業務提携を締結し、人手不足の産地に短期的に人材を派遣します。また、事業リスク回避、事業規模の拡大のため、農業同様に労働力不足の宿泊業の領域にも着手します。
- ・当社は、主に営業代行業務による収益を確保します。
- ・4月27日には、東南アジアで特定技能資格取得を目指す人材への教育を手がけるウイルテック社と連携協定を締結。当社も現地ミャンマーでの農業や宿泊業を学ぶコースをサポートします。

### 4. その他

農林水産省交付金事業を2件採択され、他にもアグラボとの連携による委託事業に取り組みます。

地方自治体等との交付金を活用した連携により労働力支援を推進します。

<採択案件>

- ・新規就農者育成総合対策事業のうち農業人材確保推進事業のうち就農相談会実施事業 農水省（事業費100,000千円）
- ・令和5年度産地間連携継続支援 農水省（事業費3,500千円）

<AgVenture Lab（アグベンチャーラボ）>

- ・令和4年度農業支援サービス事業インキュベーション緊急対策のうちサービス活用促進 農水省（事業47,846千円）

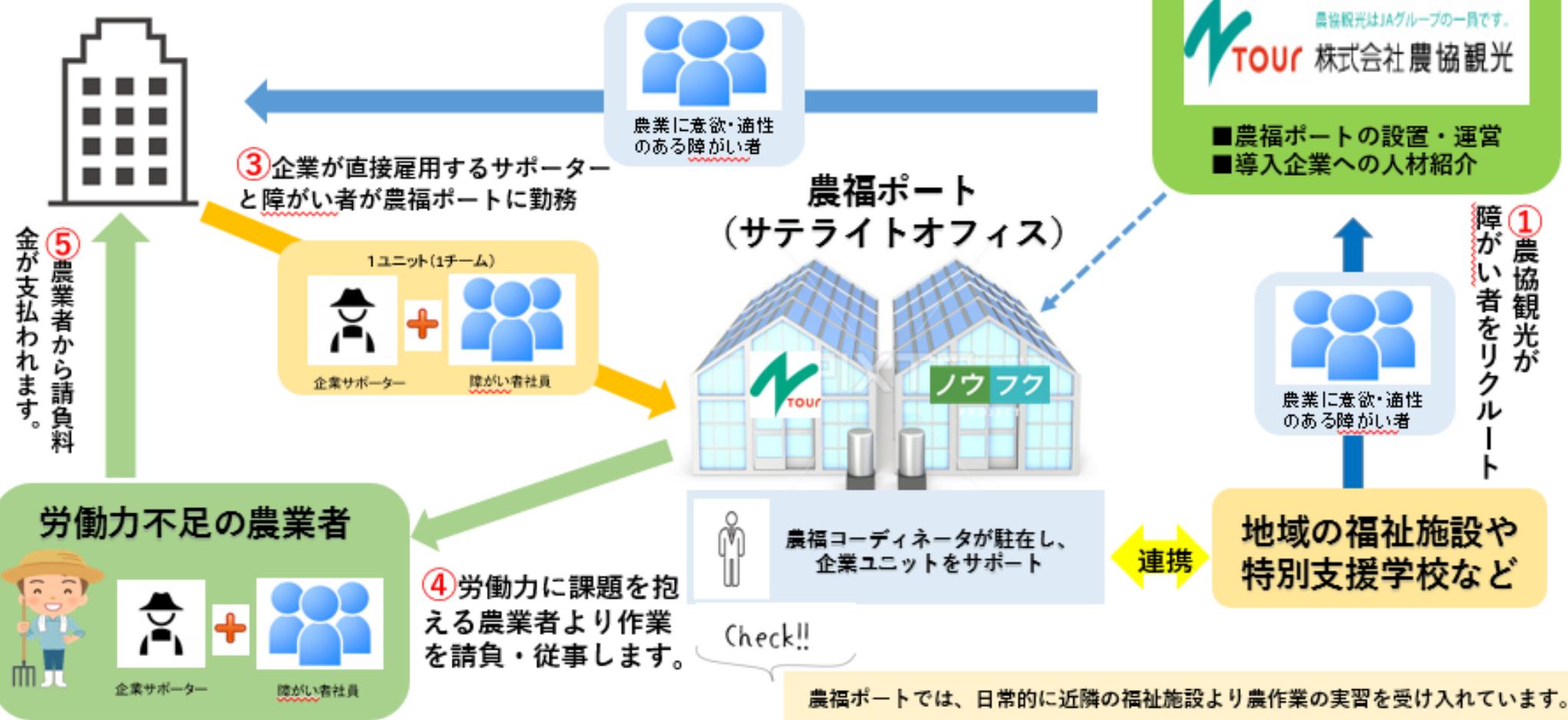
## 2. 農協観光の取組：：農福連携事業

農と福祉がつながって、日本を元気に!

# ノウハウ 障がい者が実農業に従事する 新しい雇用支援モデル

PROJECT

サービス導入企業 ②農協観光が企業に障がい者（希望によりサポーターも）を紹介



### 3. 最近の実践事例：自治体との連携①

#### ■行政連携等

JAグループをはじめ、中央省庁や地方自治体等と連携し、地域の人財育成や農業・観光振興等、幅広く取り組んでいます。これまでの実績と最新の知見を駆使し、地域の課題解決に貢献できる企業を目指しています。

#### ○山形県村山市との連携協定

農観連携事業の振興による地域活性化の推進に関する連携協定について

更新日：2022年4月7日



令和4年3月25日、株式会社農協観光（代表取締役社長：清水清男）、村山市（市長：志布隆夫）及び一般社団法人村山市観光物産協会（会長：平良悦）は、農観連携事業の振興による地域活性化の推進に関する連携協定を締結しました。

##### 1 協定の目的

株式会社農協観光、村山市、一般社団法人村山市観光物産協会の3者が連携し、農業と観光の連携事業である「アグリランドむらやま」に取り組む中で、市内の農業をはじめとする豊富な地域資源の魅力を全国に発信し、様々な体験メニューを通じた市内への誘客の拡大や地域の持続的な活性化を図ることを目的とします。

#### ○広島県世羅町との包括業務提携協定

世羅町と農協観光が誘客で提携 旅行商品の開発や情報発信を強化

地域 広島 備後

2022/4/22（最終更新: 2022/4/22）



広島県世羅町は22日、同町らしい観光を進めるため、JAグループの農協観光（東京）と包括業務提携協定を結んだ。宿泊を含めた観光客の誘致を目指し、両者で協力する。



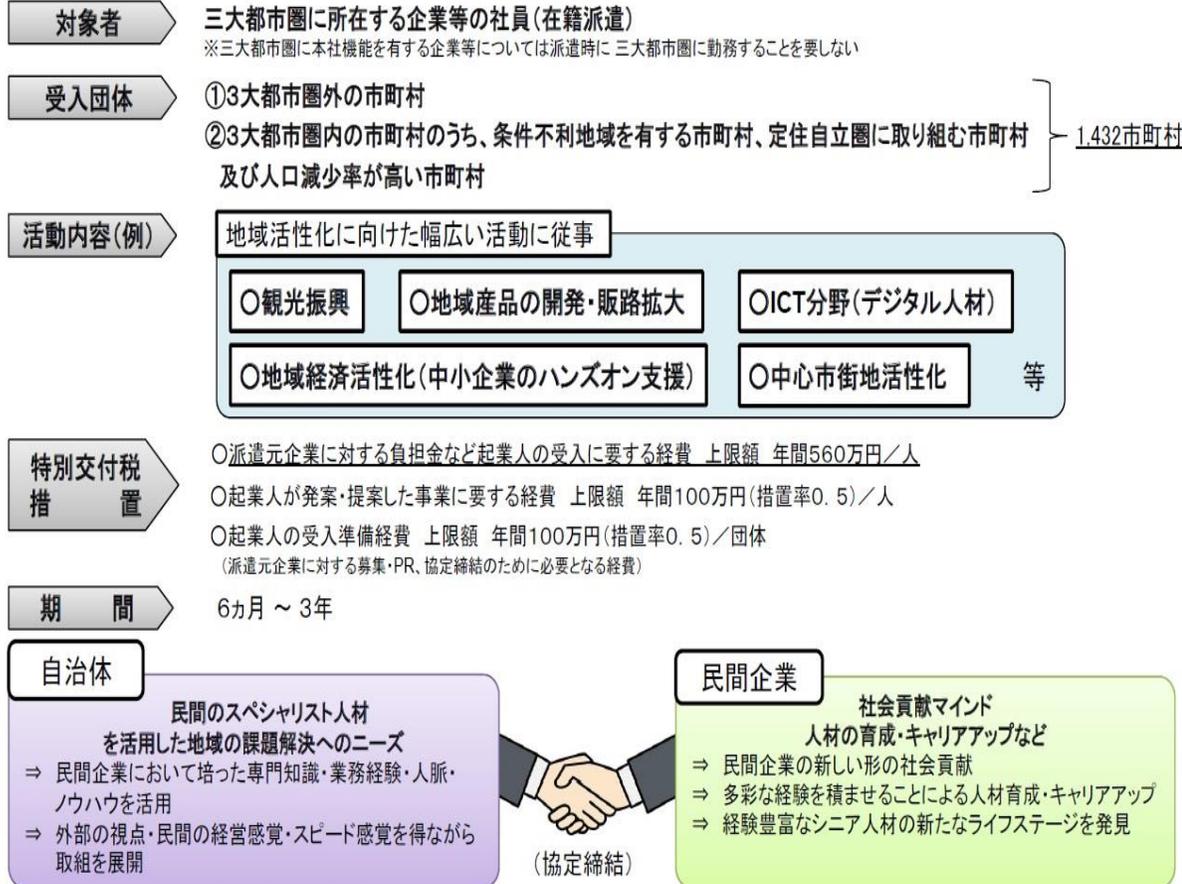
協定書を交わす吉野支店長と奥田町長

### 3. 最近の実践事例：自治体との連携②

#### ○総務省：地域活性化企業人を活用した支援 熊本県山都町

##### 地域活性化起業人（企業人材派遣制度）

○ 地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る取組に対し特別交付税措置。

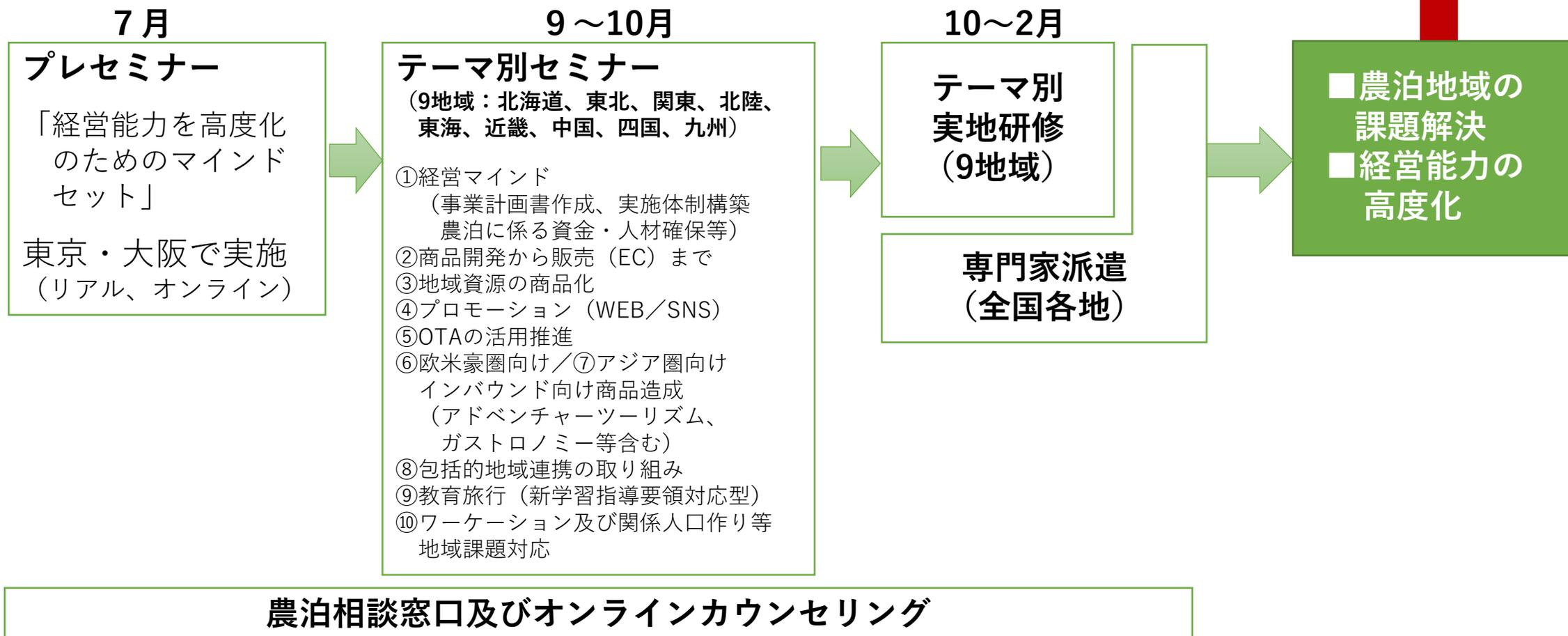


### 3. 最近の実践事例：農林水産省 令和5年度 農山漁村振興交付金

#### ○農林水産省：広域ネットワーク推進事業「経営能力を高度化するための研修・専門家派遣事業」

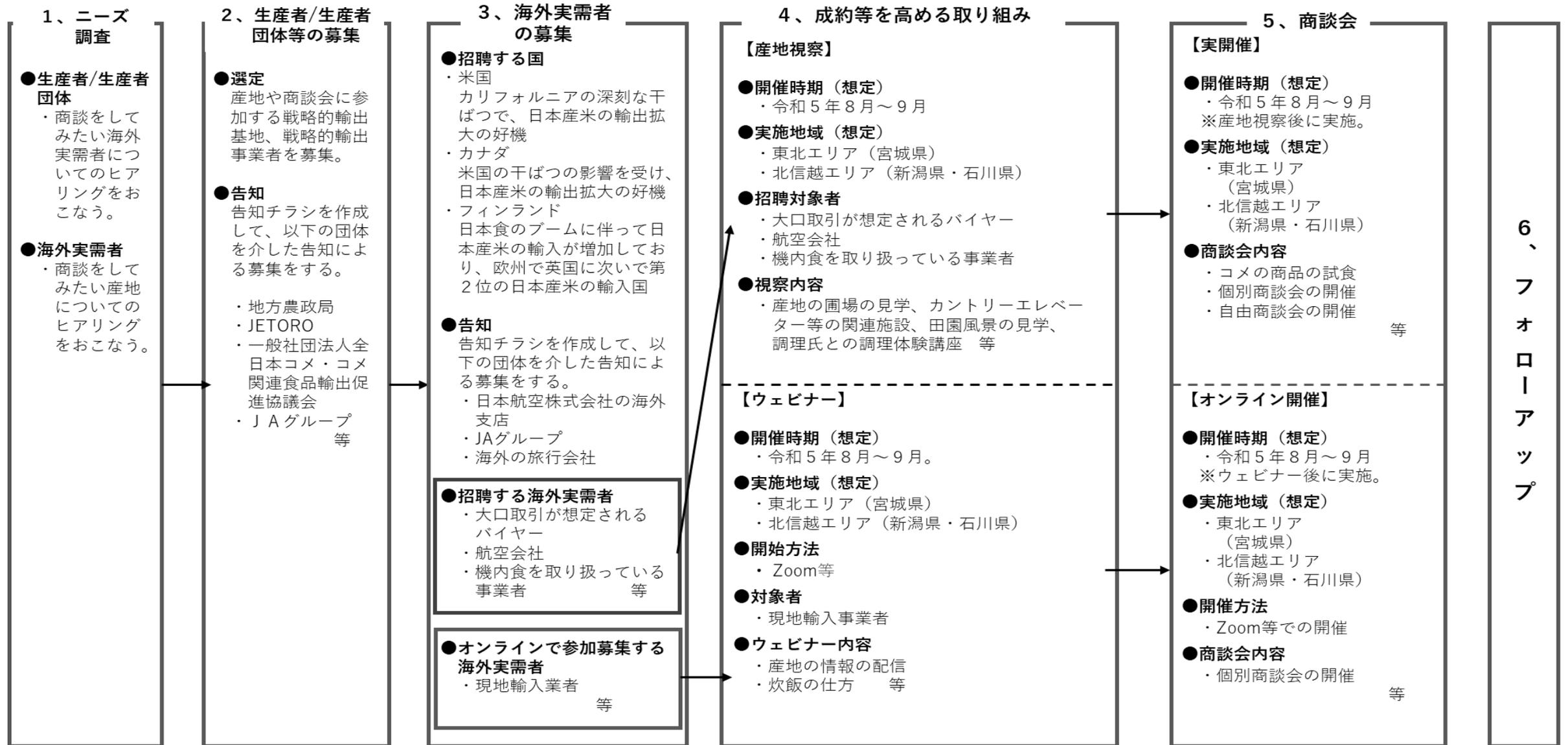
目的：農泊に取り組む地域の持続的発展に向け、先進的な取組を行う農泊地域の育成や農泊地域全体の底上げ

対象：農泊地域 621地域（R4年度末時、農山漁村振興交付金「農泊の推進」に係る）



### 3. 最近の実践事例：農林水産省 令和5年度 米穀周年供給・需要拡大支援事業

#### ○農林水産省:業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援（新市場開拓用米の販売拡大の取組）



### 3. 最近の実践事例：厚生労働省 令和5年度 農業雇用改善推進事業

#### ○厚生労働省：「農業雇用改善推進事業（農林業職場定着支援事業）」

厚生労働省 令和5年度 農林業職場定着支援事業

## 農業雇用改善推進事業

農業経営体の皆様に向けた人材確保・定着支援事業がスタートします！



本事業は全国の農業経営体における、雇用管理改善を目的に、以下を実施する事業です。

- 雇用管理研修会の開催（全国60か所）
- 個別相談会の開催
- 定期刊行物（農業雇用便り）の発行
- 雇用管理改善モデル事例集の発行 等

カリキュラム項目		○印
第1部 (約90分)	従業員の募集方法及び広告表記などに関する留意点について	
	採用（労働契約）について	
	安全衛生について	
	就業規則について	
	教育訓練について	
	労働条件に関する基準について	
	法定帳簿（労働者名簿、出勤簿、賃金台帳等）について	
	労働保険・社会保険について	
	各種助成金について	
	退職金制度（中小企業退職金共済）について	
第2部 (約60分)	人材確保の手法について	
	人事評価制度について	
その他 ご要望欄	希望するカリキュラム内容など、ご要望があれば自由にご記載ください。 (例：外国人雇用について。農福連携について。女性活躍について。事業承継について。)	

# まとめ

## 農泊推進について

農山漁村（産地）と多様な人・モノ・情報、そして思いの交流を創出し、地域の活性化・農業振興に貢献すべく農泊を推進

### 地域の課題

#### 【人・コミュニティ】

- ・ 少子高齢化
- ・ 人口減少
- ・ 担い手不足
- ・ 賑わい消失
- ・ 伝統文化の消失 等

#### 【土地・施設】

- ・ 耕作放棄地
- ・ 空き家・空き物件 等

#### 【産業】

- ・ 生産性の伸び悩み
- ・ 販路開拓 等

### 交流パターン

#### 【都市農村交流】

農山漁村（産地）



都市

#### 【産地間交流（連携）】

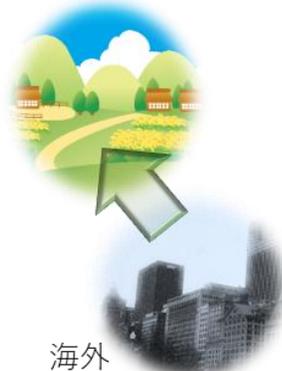
農山漁村（産地）



農山漁村（産地）

#### 【国際交流】

農山漁村（産地）



海外

### 交流形態

- ・ 農泊体験型旅行
- ・ 教育旅行
- ・ 企業研修
- ・ インバウンド
- ・ 就農ツアー
- ・ 援農ボランティアツアー 等

※多様な交流形態を拡大

### 交流手順

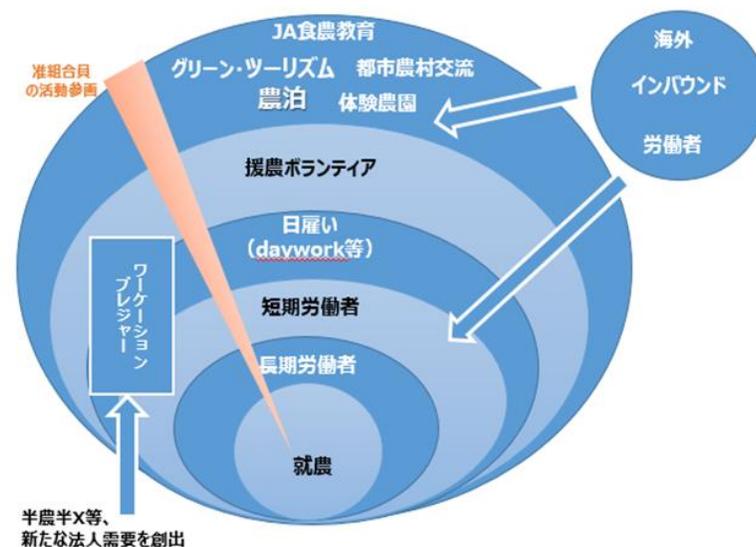
モデル地域の選定

体制整備支援  
・ 研修・視察  
・ モニターツアー等  
\* 農泊品質評価  
支援制度取得の支援

送り手の創出  
マッチング支援

継続的な交流支援  
・ モノの交流  
・ 六次産業化  
・ 商品開発・販路開拓  
・ 情報の交流  
・ 農泊プラットフォームの活用・SNS情報拡散等

農泊による  
交流人口・関係人口  
拡大



# JAグループの農協観光だからできること

地域の食・農・人に寄りそい  
共に地域の「未来」を創ること



# 全社体制

全国15の支店で、地域共創に係る担当者を置き事業を推進しています。

